

令和7年度 大田区立山王小学校 自己評価 報告書

令和8年2月21日

○ 本校の概要

<p>教育目標 ○心豊かで 思いやりのある子 ○よく考え 進んで学ぶ子 ○丈夫な体で やりぬく子</p> <p>1 児童の心に寄り添う教育の推進 ・分かる授業による学習内容の確実な習得を図り、児童が学ぶ意欲をもてる学校。児童との対話による児童理解と共感的受容に努め、児童一人一人が良好な人間関係を築き安心して生活できる学校。組織で情報を共有するとともに、相手意識の視点を持ちながら問題を解決していく学校。</p> <p>2 体育・健康教育の推進 ・運動への親しみをもち、進んで運動し、自身の体力向上や健康の保持増進に努める児童を育てる学校。</p>
--

○ 自己評価及び学校関係者評価の結果の概要と改善策

大項目	方向性	取組内容	取組指標	取組評価	目標に対する成果指標	成果評価	これまでの取組 今後の改善策	学校関係者記入欄				
								評価	人数	コメント		
生予個 き測 る困 目力 難標 をな 1育 未成 来し 社会 を創 造的 に	社会の様々な課題を自分事として捉え、主体的に考え、他者と協働し、問題解決していく意欲や、予測困難な未来社会を切り拓いていくために重要な創造力や課題解決力、情報活用能力を育成します。	①STEAM教育等の教科等横断的な学びや科学教育を推進し、課題解決力や新たな価値を創造する力の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	4	児童意識調査で、「タブレットを使って学習をすることができると」回答した児童の割合	4: 80%以上	大田区独自教科「おおたの未来づくり」や総合的な学習の時間、生活科を中心に、各教科で学習したことを関連付けながら教科横断的な学びに取り組んでいる。協働して試行錯誤を重ねながら、課題解決していく過程を通して、思考力・判断力・表現力を育てている。	A	9	・「おおたの未来づくり」は、新しい考え方を学べるよい機会であるが、難しいことも多いと思う。学校・児童ともにポジティブに取り組んでいると感じられた。 ・「おおたの未来づくり」は、先行導入校として、他の模範となるような活動ができていないのではないかと感じる。 ・先生方が授業力を高め取り組んでいる様子が、学校公開で見られている。 ・児童の興味・関心を促す授業が見られる。 ・自分のこどもの頃にはなかった楽しい活動で素晴らしいと思います。 ・「おおたの未来づくり」の授業を通して、こどもが大田区への関心を育てていると感じる。自ら大田区について調べ、タブレットを使ってプレゼン資料をまとめるなど主体的に学ぶ姿が見られ、学習の成果がしっかりと表れていた。		
			3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。			3: 70%以上80%未満					高学年では近隣のスーパーマーケットや地域・区役所等との連携、中学年では、郷土博物館等の区との連携、低学年では地域の施設や商店、近隣の保育園・幼稚園と連携しながら、学習を進めることで、実社会とつながる体験的な学びを深めることができた。	
			2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。			2: 60%以上70%未満						
②学校内外での様々な体験活動や自己評価する習慣づくりを推進し、自ら考え判断する力や、他者と協働していく力の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。	4	児童意識調査で、おおたの未来づくりや総合的な学習の時間、生活科の授業で、「友達や地域のひととかがかりながら学習することで、新しい気持ちがある」と回答した児童の割合	75.6%「そう思う」 17.9%「どちらかといえばそう思う」 93.5%	4	多くの学習で、タブレット端末を活用している。調べたり、アンケートを取ったり、友達と情報を共有して話し合いを進めたり、まとめた活用をするなど、活動にあった効果的な活用ができた。情報モラルについては、今後も計画的に指導していきたい。	C	0	・タブレットは、こどもたちの中で既に日常的な学習ツールとして定着しており、特に支障なく活用できているように感じる。先生から新しい使い方を教わるだけでなく、児童同士で教え合ったり、自分たちで新たな活用方法を見つけたりする様子も、こどもから聞いている。 ・近隣スーパー、商店街との連携等、将来、社会人としての考え、マナーを習得しているところが、高く評価される。		
											3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。	1: 60%未満
											2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。	
③情報技術を適切に活用した授業の実施を通して、情報活用能力の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。	3	56%「よくあてはまる」 34%「あてはまる」 90%	1: 60%未満	D	児童回答者数:792人	0				
										2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。		
										1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。		
お世個 お界 た目 をつ 標担 な2 がる 材国 を際 育成 成市 します	英語での実践的なコミュニケーション能力を高めるとともに、我が国や郷土の伝統文化に触れ、尊重する心や、協力していく態度を育成します。また、国際社会・地域社会に関心をもち、持続可能な社会を形成していく態度を形成します。	①外国語教育指導員の活用などにより、英語に慣れ親しみながら会話をする機会を増やし、英語力やコミュニケーション能力の向上、豊かな国際感覚の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	3	児童意識調査で、「外国語活動や外国語の授業が楽しい」と回答した児童の割合	4: 80%以上	外国語・外国語活動担当教員が、外国語教育指導員と連携を図りながら授業を行っている。2人で会話の例を示したり、ゲーム形式で単語に慣れるように工夫したりし、英語に慣れ、会話を楽しめるようにしている。中休みにしている英語カフェでは、関心のあるこどもたちが集まり、学習したことを活用しながら楽しくコミュニケーションをとることができた。参加する児童数は学年によってばらつきが見られる。	A	8	・工夫して英語の授業が行われていると感じられた。 ・成果指標にある「こどもたちが楽しんでいる」というのが、何よりの答えだと思えます。 ・開校100周年にかかる取組もとても充実していた。そのことが、児童が学習に前向きに取り組む動機付けになっていたのではないかと感じる。 ・こどもから英語の授業は楽しいと聞いています。 ・授業の中でゲームを取り入れていることも話していました。また、校内で学習場所を移動し、理科室内のものを英語で学んだことも教えてくれました。日常生活の場面を英語で表現するなど、こどもたちが英語を身に付けやすくなるように、様々な工夫がされていると感じる。		
			3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。			2: 60%以上70%未満						
			2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。									
②我が国や郷土の伝統や文化の学習、人権教育を推進し、自分とは異なる文化や価値観をもつ相手を理解し、互いに尊重し合う心の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。	4	56%「そう思う」 28.6%「どちらかといえばそう思う」 84.6%	2: 60%以上70%未満	C	ごみの問題やSDGs等、自分の身の回りのことから世界規模の課題をとり、関心を高めている様子が見られた。	0	D			
										2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。		
										1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。		
③現代社会における地球規模の課題を自分事として捉え、その解決に向けて考え、行動する力の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。	3	1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	1: 60%未満	D		0				
										3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。		
										2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。		
た一個 め人 別の ひ目 基と 標礎 り3 がな 個性 力を と能 育力 成を し発 揮す る	児童・生徒が豊かな人生を生きていく上で基礎となる力として、豊かな心や確かな学力、健やかな体を育成します。また、乳幼児期から中学校までの一貫性のある教育を推進します。	①道徳科を中心とした各教科等での学習などを通じて継続的に道徳教育を実施し、豊かな情操や道徳心の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	4	児童意識調査で、「友達に親切にしたり、助け合ったりしている」と回答した児童の割合	4: 80%以上	道徳教育推進リーダーを中心に、道徳の授業について教員間で学びあい、授業力を高めてきた。	A	7	・学習、体育、道徳のいずれも先生の自己評価が高く素晴らしいことと思う。もともと上級生が下級生に見本を示す伝統があると感じていたが、100周年でより強く感じられた。		
			3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。			3: 70%以上80%未満						
			2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。									
②学習習熟度に応じた指導や個に応じた学習支援、各種検定の実施を通して、すべてのこどもに確かな学力の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。	4	64.1%「そう思う」 28.1%「どちらかといえばそう思う」 92.2%	保護者評価アンケートの「学校は体育朝会や休み時間の外遊びの推奨を通して、体力向上に取り組んでいる。」の項目で「あてはまる」と回答した割合	4	今年度は算数の学習もクラスで行う時間が多かったが、本校の実態である学力の大きな差を補うため、補充的な学習が必要な児童には個別に対応、支援をしている。3年生以上は算数補習教室においても、たくさん習熟練習をしたいお子さんたちが学習をしている。	B	2	・制約が多い公立校という枠組みの中で、児童の能力や学習意欲を高める取り組みがなされているものと感じる。 ・④について。山王小は、私立中への進学者が多く、公立中も大森三中、馬込東中と進学先が分かれるので、小中一貫の視点に立った教育はそもそも難しいと考える。設問が適切ではない。 ・体力向上に向けて、朝の時間に運動の機会を確保していただくなど、特に意識して取り組んでくださっていると感じる。これまで外遊びにあまり積極的でなかった長男も最近参加するようになり、指導の成果が表れていると実感している。		
											3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。	2: 60%以上70%未満
											2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。	
③体育や保健体育の授業など様々な機会を通して、健康教育や食育を推進し、基本的な生活習慣の確立を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。	4	50.6%「よくあてはまる」 38.3%「あてはまる」 88.9%	保護者評価アンケートの「こどもは、生命の尊厳を知り、命あるものや人権を大切にしている。」の項目で「あてはまる」と回答した割合	C	本校は児童数800人の大規模校のため、毎日全学年が校庭で遊べるわけではないが、体育館や屋上を開放することで、場の確保に取り組んでいる。朝の時間を活用して、体育朝会で様々な運動を紹介したり、各学年月1回「運動タイム」を設定して体を動かす時間を増やしたりしている。また、中休みに「山王オリンピック」を実施し、クラス対抗のリレーなどに取り組んだ。	0	D			
										3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。		
										2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。		
④乳幼児期から中学校まで円滑な接続を行うため、保幼小の連携や小中一貫の視点に立った教育を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。	3	50.9%「よくあてはまる」 42.6%「あてはまる」 93.5%	1: 60%未満	D	保護者回答者数:326名	0				
										2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。		
										1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。		
⑤開校100周年にかかる行事や学習への取組を通して、歴史や伝統を築いてきた先人への感謝の心、地域への愛着の心、愛校心等を醸成している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。	4	2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。	1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	D		0				
										3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。		
										2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。		

学 校 別 力 目 標 教 師 力 を 向 上 さ せ ま す	校内研究等のOJTの充実を通して、教師の授業力を向上させます。また、質の高い教育を実現するため、学校の組織的な運営力を向上させます。あわせて、教師がやりがいをもって働くことができる魅力的な環境づくりを進めます。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	4	保護者評価アンケートの「学校は授業を工夫し、個に応じた指導を行っている。」の項目で、「あてはまる」と回答した割合 45.4%「よくあてはまる」 42.3%「あてはまる」 87.7%	4: 80%以上	4	校内では、主任教諭の専門性を活かしてOJTを毎月行ったり、各学年で教材について話し合ったりすることで、教師の指導力向上に努めている。また、大田区教育研究会への参加や指導教諭の模範授業への参観を促し、教員の学ぶ機会の確保に努めている。	A	8	・このような取組により、教育に関わりたいと思う人が増えるのではと期待している。 ・成果と課題に対する認識が妥当で、よく分析されていると思う。 ・年々、改善はなされていると思うものの、やはり先生方が忙しそうで(管理職を含む)、PTAとしてもお願いごとをしづらく感じてしまうことがある。 ・主任教諭の毎月のOJTは素晴らしい取組である。 ・多くの目で子どもたちを見守ることが、先生方のストレス解消の一因になるのではないかと思う。 ・先生の仕事の負担を減らすのは、なかなか難しそうに思えるが、仕事を減らす、人を増やすのも仕事ととらえて進めていただきたい。	
		①児童・生徒一人ひとりの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実の視点による授業改善を行っている。			3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1: 「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。						3: 70%以上80%未満
		②教職員がそれぞれの専門性を生かしたり、地域の特色を生かしたりして教育活動を行っている。			4: 「おおむねできた」と全教員が回答した。 3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1: 「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。						2: 60%以上70%未満
		③教職員の業務適正化等に取り組み、児童・生徒に教員が向き合う時間を確保する等、ウェルビーイングを高める取組を行っている。			4: 「おおむね高まっている」と全教員が回答した。 3: 80%以上100%未満が「おおむね高まっている」と回答した。 2: 60%以上80%未満が「おおむね高まっている」と回答した。 1: 「おおむね高まっている」と回答した教員が60%未満であった。						1: 60%未満
た 自 分 の 目 学 し ま す を い 支 き 援 い し ま す と 生 き る	困難のある児童・生徒一人ひとりの状況にあわせて教育環境を整え、すべての児童・生徒が自分らしくいきいきと生きるための学びを支援します。	4: 「おおむねできた」と全教員が回答した。	3	児童意識調査で、「学校は楽しい。」と回答した児童の割合児童 66.4%「そう思う」 23.1%「どちらかといえばそう思う」 89.5%	4: 80%以上	4	個のよさを認めること、特別な支援を要する児童への理解と個別の支援、保護者との面談、SCやSR等との連携をしっかりと行っている。 児童の様子をよく観察し、些細なことでも学年で情報共有をすることで、早期発見、早期対応ができています。 今後学校だけでなく、関係諸機関と連携を図りながら対応していく。	A	9	・こちらに該当するかわからないが、夏わくの講師の方々、みなさん山王小の児童は優秀で飲み込みがはやいとおっしゃっています。スポーツ系の講座で泣いてしまうお子さんも、山王の児童は少し多めという話もありましたが、それも自己表現できていると言えるのかなと思う。様々な経験を通して、精神的にも強くなってくれたらと思う。 ・多様な学びの推進は重要な課題であり、今後さらなる充実を期待している。 ・大規模校であることを言い訳にすることなく、きめ細やかな対応がなされているものと思う。 ・困難のある児童ひとりひとりの状況をしっかりと把握し、対応している点は素晴らしい。もっと児童との生活を発信してほしい。 ・困難のある児童にも、個別の状況に応じた教育がなされていると感じた。	
		①インクルーシブ教育システムの構築に向けて、教員の資質・能力の向上や校内における支援体制の充実、特別支援教室巡回指導教員との連携等を行っている。			3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1: 「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。						3: 70%以上80%未満
		②学校いじめ防止基本方針に沿って、いじめの未然防止、早期発見、早期対応等のための組織的な対応を実施している。			4: 「組織的な対応ができた」と全教員が回答した。 3: 80%以上100%未満の教員が回答した。 2: 60%以上80%未満の教員が回答した。 1: 「組織的な対応ができた」と回答した教員が60%未満であった。						2: 60%以上70%未満
		③スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとの連携等、児童・生徒・保護者が相談しやすい環境を整備し、一人ひとりの能力や可能性を最大限に伸ばすことを意図した指導や支援を行っている。			4: 「おおむねできた」と全教員が回答した。 3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1: 「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。						1: 60%未満
安 柔 個 心 軟 目 で 目 教 創 標 育 造 6 環 境 な を 学 習 空 間 と す 安 全	学校施設について、ICT環境等の教育環境の整備を推進するとともに、児童・生徒の安全・安心を向上させるための教育を推進します。	4: 「おおむねできた」と全教員が回答した。	4	保護者評価アンケートの「学校は、子どもの安全管理に気を配っている。」の項目で、「あてはまる」と回答した割合 50.8%「よくあてはまる」 43.3%「あてはまる」 93.9%	4: 80%以上	4	児童の学習環境を守るため、教員が月1回、教室や廊下、階段、校庭、遊具等の安全点検を行っている。そこで挙げられた内容は、管理職、事務、用務員で相談し、校内で整備なのか業者に依頼するのか等判断し即時対応している。 月1回の避難訓練、安全指導を通して、児童の意識を高めている。特に安全指導では、「山王の子ども」に記載されている項目ごとに学級で確認をしたり、必要に応じて全校朝会で生活指導主任が話をしたりしている。	A	9	・学校の点検を頻繁に行ってくださっていることがありがたい。登下校の注意事項や歩き方なども引き続きご指導いただけたらと思う。自転車のルールも厳しくなったので、自転車教室もよいと感じた。 ・安心・安全な学校(環境)への配慮が十分にされている。 ・家庭でも地震発生時に息子が頭を守る行動をとったことがあり、日頃の訓練の成果がいきいていると感じた。 ・全校での学習環境を守る努力が認められる。 ・安全に学習し、十分な配慮がなされた活動が行われていると感じた。	
		①学校や地域の伝統・特色や、安心・安全な学校生活づくりを踏まえて、学習環境を整備している。			3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1: 「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。						3: 70%以上80%未満
		②避難訓練や安全指導などを通して、危険や災害に対する教育を関係機関と連携しながら進めている。			4: 「おおむねできた」と全教員が回答した。 3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1: 「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。						2: 60%以上
		③スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとの連携等、児童・生徒・保護者が相談しやすい環境を整備し、一人ひとりの能力や可能性を最大限に伸ばすことを意図した指導や支援を行っている。			4: 「おおむねできた」と全教員が回答した。 3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1: 「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。						1: 60%未満
学 地 学 校 校 別 を コ ・ 目 つ ミ 家 標 ク 庭 7 リ ニ ・ マ テ 地 域 の 核 と 携 し ・ 協 働 に よ る	地域コミュニティの核としての学校づくりや地域の特色を生かした学校づくりを進めるとともに、学校・家庭・地域が連携・協働して、地域社会全体で子どもたちを育成します。	4: 「おおむねできた」と全教員が回答した。	4	保護者評価アンケートの「学校は、学校行事に地域の協力を得ている。」の項目で、「あてはまる」と回答した割合 64.4%「よくあてはまる」 31.9%「あてはまる」 96.3%	4: 80%以上	4	今年度は開校100周年を迎え、PTAや地域、実行委員会と連携を図りながら、様々な企画を行った。父母、祖父母も山王小の卒業生というご家庭も多く、地域の方に愛され続け、地域の方の熱い思いのある学校であることを改めて感じる事ができた一年であった。児童は、地域の方や卒業生から当時の様子などの話を聞くことを通じて、学校や地域への愛情を育めたと感じる。 登下校の見守りをはじめ、学校内における1年生の給食補助や校内教育支援センターでの見守り等にも協力を得られるように今後進めていきたい。	A	8	・100周年式典は特に素晴らしい。学芸会、運動会等の日頃の成果だと思います。 ・100周年に少しでも関わって嬉しかった。ご招待いただきありがとうございます。 ・100周年だったので、地域としても連携しやすい状況だった。 ・登下校の見守りを地域協力で実施するには、地域にそれだけの体力がなく、学童誘導員が担っている。この設問も自治会、町会の実態にそぐわない。 ・新しいCS制度のもとで、私たちにできることは、積極的に協力していきたいと考えている。 ・全体的に校長、副校長のリーダーシップがしっかり発揮されていて、安定した学校経営がなされていると感じる。大田区の良いモデルとなる学校ではないかと思う。 ・地域もからんだ緑陰夏まつりや今年に関しては山王小フェスタを通して、子どもたちの心の中に地域社会との繋がりを印象づけることができている良いなと思う。 ・開校100周年の企画には、目を見張るものがあった。全体をあげての企画・運営には、学校・地域との連携が必要であり、その集大成といえるものが多くあった。 ・地域の協力について、PTAでは部長さんや部員さんのほかに、「スキマサポーター」というボランティア制度があり、都合のつとときに、気軽に手伝いできる仕組みがある。地域の方々もよつとしたことから気軽に協力できるような仕組みがあるとよいと思う。 ・100周年で、学校・地域・卒業生と喜び、学校愛を共有でき感動した。	
		①「地域コミュニティの核としての学校づくり」を目指して地域と学校が連携・協働した様々な活動を実施している。			3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1: 「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。						3: 70%以上80%未満
		②登下校の見守り活動等の、児童・生徒の健全育成や安全指導に係る取組を地域の協力により実施している。			4: 「おおむねできた」と全教員が回答した。 3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1: 「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。						2: 60%以上70%未満
		③家庭教育に関する情報の発信やPTAなどと連携した講演会・学習会、またはその双方を実施している。			4: 「おおむねできた」と全教員が回答した。 3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1: 「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。						1: 60%未満

○「成果評価」は、各校が4段階で定めた成果指標によって行う。

○記入にあたっては、各学校で取り組んでいる自己評価項目に照らし、該当する項目を取りまとめる。

○学校関係者評価の「評価」は、A: 自己評価は適切である B: 自己評価はおおむね適切である C: 自己評価は適切ではない D: 評価は不可能である の4点について、評価した人数を記載す